

## 地域医療構想素案に対する各構想区域からの意見及び修正（案）

## (1) 各構想区域の状況について（修正意見があった構想区域のみ）

構想区域 (開催年月日)	素案	意見	修正（案）
海部 (H28年6月27日)	(医療資源等の状況) ○DPC 調査結果 (DPC 調査参加施設: 2 病院) によると、構想区域内において、ほぼ全ての主要診断群の入院及び救急搬送実績があり、緊急性の高い傷病 (急性心筋梗塞・脳卒中・重篤な外的障害) 及び高齢者の発生頻度が高い疾患 (成人肺炎・大腿骨骨折) の入院実績がありますが、 <u>その入院実績の多くを厚生連海南病院が担っています。</u> (資料 4 P12)	他の病院も担っている面があるため、左欄下線部を「 <u>についても入院実績があります。</u> 」とすべき。	意見のとおり修正。
西三河南部東 (H28年6月30日)	(医療資源等の状況) (資料 4 P31)	当圏域は今後の具体的な取組を進めているため、「○ <u>以上の状況も踏まえて、岡崎市では岡崎市民病院の増床 (一般病床 65 床) や新病院の誘致 (一般病床 400 床規模) など具体的な取組を進めてきており、既存の医療体制と合わせて、平成 32 年までに一般病床や 2 次救急医療の不足が大きく改善される見通しです。</u> 」を追加すべき。	意見のとおり追加。
	(入院患者の受療動向) ○疾患別の受療動向においては、がんの自域依存率が、他区域と比べて低い状況にあり、 <u>患者の多くが西三河南部西医療圏に流出しています。</u> (資料 4 P31)	より正確な表現とするため、左欄下線部を「 <u>他区域への流出患者の多くが西三河南部西医療圏に流出しています。</u> 」とすべき。	「疾患別の受療動向においては、がんの自域依存率が、他区域と比べて低い状況にあり、 <u>他区域への流出患者の多くが西三河南部西医療圏の医療機関に入院しています。</u> 」と修正。
東三河南部 (H28年6月29日)	(医療資源等の状況) ○DPC 調査データに基づく緊急性の高い傷病 (急性心筋梗塞・再発性心筋梗塞、くも膜下出血・破裂脳動脈瘤、頭蓋・頭蓋内損傷) の入院治療を行っている施設までの移動時間は、30 分以内で大半の人口がカバーされていることから、 <u>医療機関への交通アクセスや医療機関の受け入れ体制等に大きな問題が生じていないと考えられます。</u> (資料 4 P40)	区域内の南部では移動時間が長い地域があるため修正すべき。	「DPC 調査データに基づく緊急性の高い傷病 (急性心筋梗塞・再発性心筋梗塞、くも膜下出血・破裂脳動脈瘤、頭蓋・頭蓋内損傷) の入院治療を行っている施設までの移動時間は、30 分以内で大半の人口がカバーされていますが、 <u>構想区域南部の地域においては、移動時間が長くなっています。</u> 」と修正。

(2) 各構想区域の医療課題について (修正意見があった構想区域のみ)

構想区域 (開催年月日)	素案	意見	修正 (案)
海部 (H28年6月27日)	○DPC 病院は 2 病院のみで、 <u>構想区域内の入院実績も少ないため、区域内に十分な急性期入院機能を有しているとは言い難い状況で、高度な集中治療が行われる特定入院料の病床も少ないため、緊急性の高い救急医療について、名古屋・尾張中部構想区域との適切な連携体制を構築していく必要があります。</u> (資料 4 P14)	名古屋との連携は取れている。また、地域に不安を与えかねない表現があり修正すべき。	「DPC 病院は 2 病院のみで <u>構想区域東部の地区にはなく、高度な集中治療が行われる特定入院料の病床も少ないため、緊急性の高い救急医療について、名古屋・尾張中部構想区域との連携体制を維持していく必要があります。</u> 」と修正。
尾張東部 (H28 年 7 月 8 日)	○大学病院が 2 病院あり、ドクターヘリ事業の基地病院がある等、高度な医療を広域に支える役割があり、今後も高度・専門医療を確保し、緊急性の高い救急医療について、 <u>他の構想区域との適切な連携体制を構築していく必要があります。</u> (資料 4 P17)	他の構想区域との連携は取れているため、左欄下線部を「 <u>他の構想区域との連携体制を継続していく必要があります。</u> 」とすべき。	「(略) 他の構想区域との <u>連携体制を維持していく</u> 必要があります。」と修正。
尾張西部 (H28 年 6 月 15 日)	○県内病院における医師不足の影響に関する調査結果 (平成 27 年 6 月末時点) によると、診療制限をしている病院数は 8 病院あり、区域内病院数 (19 病院) に対する割合が 42.1%と <u>高くなっており、その状況を分析し、対応を検討する必要があります。</u> (資料 4 P20)	当圏域では問題との認識はないため、左欄下線部を「 <u>高くなっていますが、関係機関の協力連携等により、地域全体でカバーされており、今後も見守っていく必要があります。</u> 」とすべき。	意見のとおり修正。
知多半島 (H28 年 6 月 27 日)	○構想区域内の DPC 病院は 3 病院ありますが、他の区域と比べ入院実績が少ないことから、区域内に十分な急性期入院機能を有しているとは言い難い状況で、高度な集中治療が行われる特定入院料を届けている病床数も少ない状況です。 <u>緊急性の高い救急医療について、他の構想区域との適切な連携体制を構築していく必要があります。</u> (資料 4 P26)	新病院稼働により改善されている面もあるため、左欄下線部を「 <u>また緊急性の高い救急医療について、データが平成 25 年度のものであり、その後公立西知多総合病院が開院し現在は当時より良い状況になっていると思われます。知多半島圏域としては、当圏域内で治療困難な特殊症例の対応等に関して他の構想区域との適切な連携体制を構築していく必要があります。</u> 」とすべき。	「(略) <u>緊急性の高い救急医療については、公立西知多総合病院の開院により状況の改善が見込まれますが、構想区域内で治療困難な特殊症例の対応等について、他の構想区域との適切な連携体制を構築していく必要があります。</u> 」と修正。

構想区域 (開催年月日)	素案	意見	修正(案)
西三河北部 (H28年6月28日)	_____	65歳以上人口の増加率が県内最大のため、「○ 平成52年(2040年)まで65歳以上人口の増加率は県全体と比べて高いため、平成52年(2040年)まで見据えた、医療提供体制を中・長期的に考えていく必要があります。」を追加すべき。	「○ 平成52年(2040年)まで65歳以上人口の増加率が県全体と比べて著しく高いため、平成52年(2040年)までの医療需要の増大を見据え、必要な医療需要や医療従事者の確保を始めとする包括的な医療提供体制を中・長期的に考えていく必要があります。」を追加。
	_____	区域内にへき地があることから、「○ へき地対象地域を抱えており、面積が広大なため救急搬送所要時間も長くなっており、医師を始めとする医療従事者の確保や救急搬送体制の充実などへき地医療を確保する必要があります。」を追加すべき。	意見のとおり追加。
西三河南部東 (H28年6月30日)	_____	新病院の建設が予定されるため、「○ 今後、新病院の建設により、当区域の医療環境全般、或いは、患者の流入・流出に大きな変化が生じる可能性があります。従って、入院医療や救急医療に関する当区域及び他の構想区域との連携・役割分担はもとより、医療従事者確保等の諸課題を含めて、状況に即した迅速な対応や見直しが必要です。」を追加すべき。	意見のとおり追加。
	_____	_____	65歳以上人口の増加率が著しく高いため、「○ 平成52年(2040年)まで65歳以上人口の増加率が県全体と比べて著しく高いため、平成52年(2040年)までの医療需要の増大を見据え、必要な医療需要や医療従事者の確保を始めとする包括的な医療提供体制を中・長期的に考えていく必要があります。」を追加。

構想区域 (開催年月日)	素案	意見	修正(案)
西三河南部西 (H28年6月21日)	_____	65歳以上人口の増加率が著しく高いため、「○平成52年(2040年)まで65歳以上人口の増加率が県全体と比べて著しく高いため、平成52年(2040年)までの医療需要の増大を見据え、必要な医療需要や医療従事者の確保を始めとする包括的な医療提供体制を中・長期的に考えていく必要があります。」を追加すべき。	意見のとおり追加。
	_____	看護師不足のため、「○構想区域内の看護師養成校の入学定員は、1.8人/人口万人と愛知県平均の4.5人/人口万人と比べて著しく低いため、医療提供体制の要となる看護師養成の基盤づくりを考えていく必要があります。」を追加すべき。	当構想区域の人口10万人当たり病院従事看護師数は、県平均を下回るものの、他の構想区域に比べ特に低いわけではない。また、病床100床当たり病院従事看護師数は、県平均を上回っていることから追加しない。
東三河北部 (H28年6月24日)	○へき地対象地域を抱えており、面積が広大なため救急搬送所要時間も長くなっており、医師を始めとする医療従事者の確保や救急搬送体制の充実などへき地医療を確保する必要があります。(資料4 P38)	より適切な表現とするため、「 <u>無医地区、準無医地区及びへき地診療所が設置される区域</u> を抱えており、 <u>また、人口10万人対の医療機関従事医師数が県内でも少ない区域であることから、へき地医療、救急医療及び在宅医療の充実のため、医師を始めとする医療従事者の確保と区域内の医療機関相互の連携をさらに進める必要があります。</u> 」また「 <u>面積が広大であること等により、救急搬送所要時間が長くなっており、ドクターヘリの整備等の救急搬送体制の充実が必要です。</u> 」とすべき。	前段は意見のとおり修正。  後段は「 <u>面積が広大であること等により、救急搬送所要時間が長くなっており、救急搬送体制の充実が必要です。</u> 」と修正。
	○緊急性の高い救急医療や周産期医療などの医療提供体制の確保が区域内的の医療機関だけでは困難な状況となっており、東三河南部構想区域との連携体制をさらに進める必要があります。(資料4 P38)	より適切な表現とするため、左欄下線部を「 <u>重篤な救急患者の救急医療や周産期医療の確保</u> 」とすべき。	意見のとおり修正。

構想区域 (開催年月日)	素案	意見	修正(案)
東三河南部 (H28年6月29日)	_____	区域内の医療機関において、医師・看護師は不足している状況であることから、課題に追加すべき。	「○ <u>病床 100 床対の医療施設従事医師数及び病院従事看護師数が県平均と比べ極めて少なくなっており、その状況を分析し、対応を検討する必要があります。</u> 」を追加。

(3) 必要病床数推計について

各構想区域から、構想区域間の調整を行わないことについて異論なし。

(4) その他

東三河南部構想区域から「今後の議論を円滑に進めていくため、在宅医療に関するデータを参考資料に追加すべき。」との意見があり、参考資料(16)(17)として追加。